

ラベル巻き出し部バネ交換手順

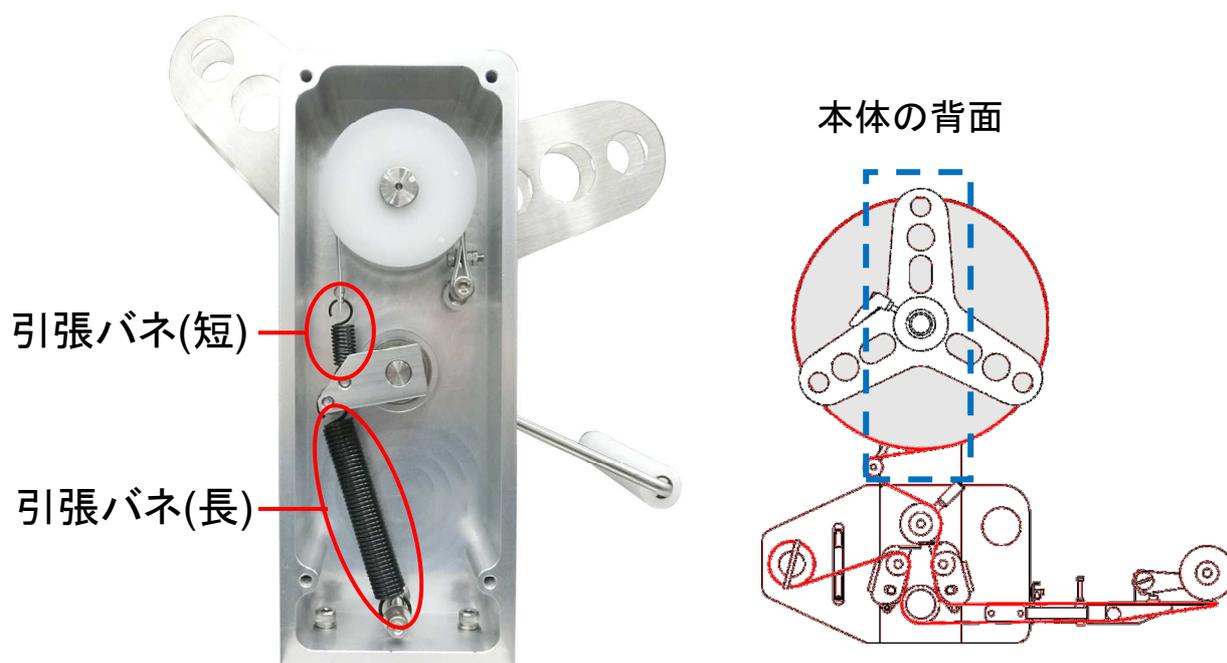
AUTOMATIC LABELING SYSTEM

LA-5 シリーズ



警告

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つようにしてください。



< 本手順書は、本機に以下の症状が見られる際にご参照ください >

- ラベルロールが空転し続ける
- ラベルが正常に繰り出されない
- ブレーキアームが元の位置に戻らない

ラベル巻き出し部のバネを交換する



警告

- 交換を行う前に、**操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください**。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。
- **印字部周辺、駆動部周辺は高温になっている場合があります**ので注意してください。火傷の原因となることがあります。

< 交換前の確認と処置 >

バネの破断や変形、また伸びてしまっている場合、バネを交換して下さい。
以下を確認し不具合が解消する場合、バネを交換する必要はありません。

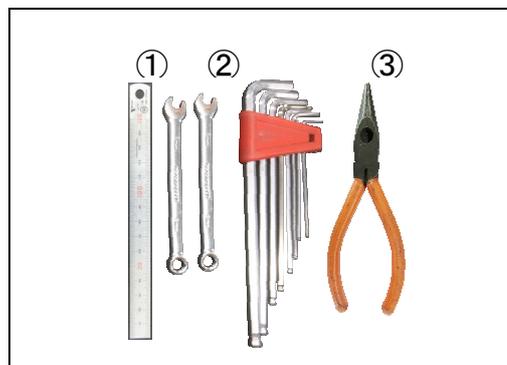
- ブレーキアームを固定しているブレーキアームブロックのネジが弛んでいないか確認して下さい。弛んでいる場合はブレーキアームを元の位置に戻して固定して下さい。
- ブレーキホイールからブレーキベルトが外れていないか確認して下さい。外れている場合はホイールにベルトを掛け直して下さい。
- ブレーキベルトからバネが外れていないか確認して下さい。外れている場合はベルトにバネを掛け直して下さい。
- ブレーキベルトが破断していないか確認して下さい。破断している場合はブレーキベルトを交換して下さい。

本手順書はラベラー本体が左流れの場合の手順を説明しております。

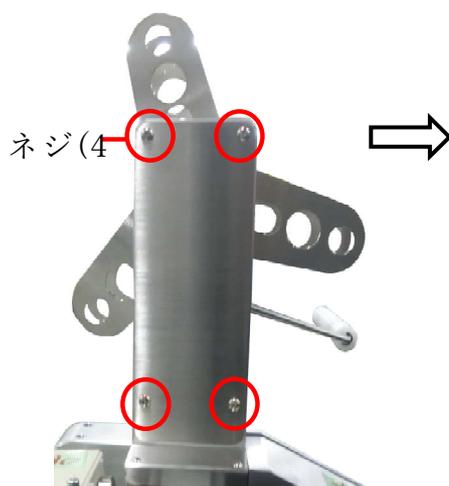
※右流れの場合、本書の画像およびイラストは全て左右反転した配置となります。調整の際はよく注意して行ってください。

■ 作業開始前にご準備頂くもの

- ① 金さし
- ② スパナ(2本), レンチ(8 mm)
- ③ 六角レンチセット
- ④ ラジオペンチ



1 ラベラー背面のネジ(4本)を外し、カバーを取り外します。



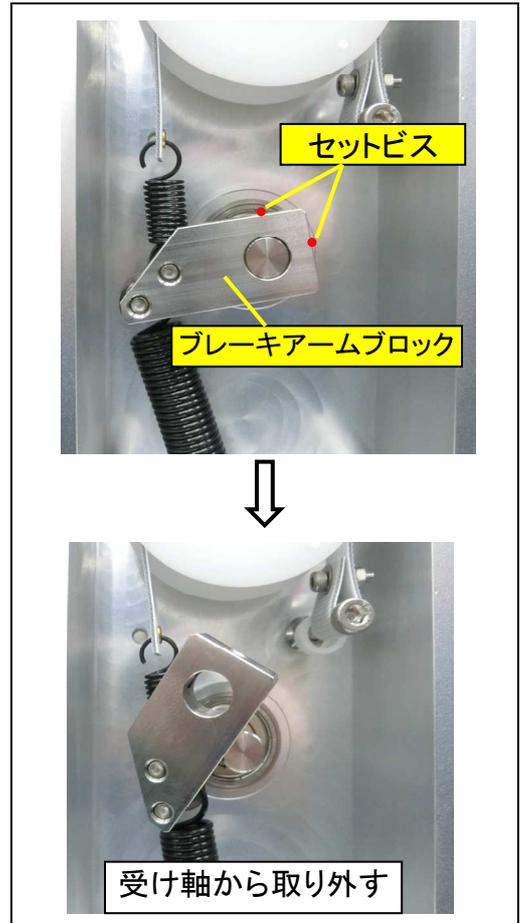
2 図示のナット(2個)を緩め、六角穴付きボルトを外します。

- ナットを緩める際はスパナを2本使い、奥側のナットをスパナで固定しながら手前のナットを緩めてください。
- 手前のナットを緩め終えた後、奥側のナットを緩めてください。



3 ブレーキアーム上部のセットビス(2個)を緩め、ブレーキアームブロックを受け軸から取り外します。

- セットビスを緩めると、ブレーキアームブロックを移動させることができます。ブレーキアームブロックを手前側に抜き取ってください。



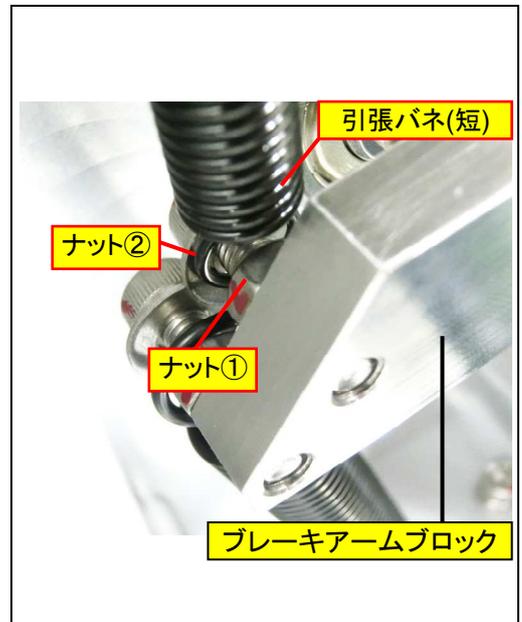
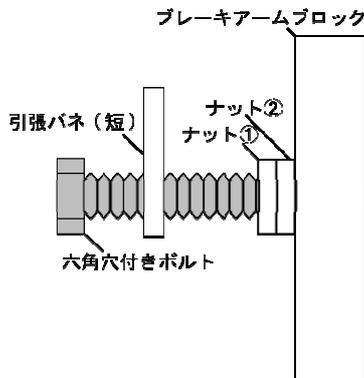
4 ラジオペンチ等を用いて、ブレーキベルトを引張バネ(短)から取り外します。

- 取り外しの際、引張バネを変形させないようにご注意ください。
- バネ先端部は鋭利ですので、手や指を怪我しないようお取り扱いにご注意ください。



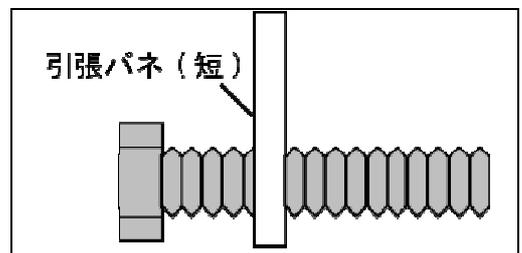
5 図示のナット①および②を緩めます。

- ナットを緩める際はスパナを2本用い、奥側のナット(ナット②)をスパナで固定しながら手前のナット(ナット①)を緩めてください。
- ナット①を緩めた後、ナット②を緩めてください。



6 六角穴付きボルトをブレーキアームブロックから取り外します。

- 取り外しの際は六角レンチを使用してください。



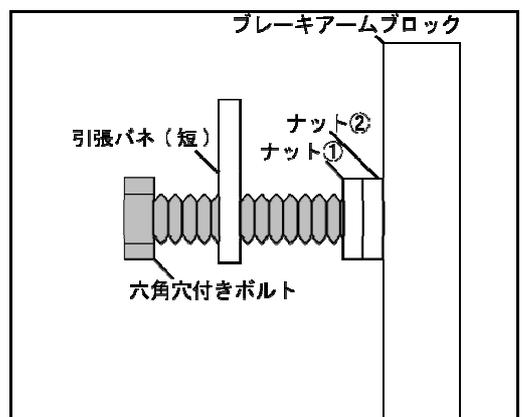
7 引張バネ(短)を六角穴付きボルトから取り外し、新しいものに交換します。

8 交換した引張バネ(短)を六角穴付きボルトに掛け、ナット①および②を取り付けます。

- ナットはナット②が先端になるよう、取り付け順に注意してください。

9 交換した引張バネ(短)、ナット①および②を取り付けた六角穴付きボルトを、ブレーキアームブロックに取り付けます。

- 取り付けの際は六角レンチを使用してください。



10 引張バネ(短)をブレーキベルトに取り付けます。

- 引張バネはラベラーの流れ方向により、取り付けるバネの向きが決まっています。以下の図を参照に、バネの向きに注意して取り付けてください。(内から外側に掛ける)
- 引張バネとブレーキベルトを取り付ける際はラジオペンチ等を用い、さらに引張バネを変形させないように注意してください。

<引張バネ(短)>

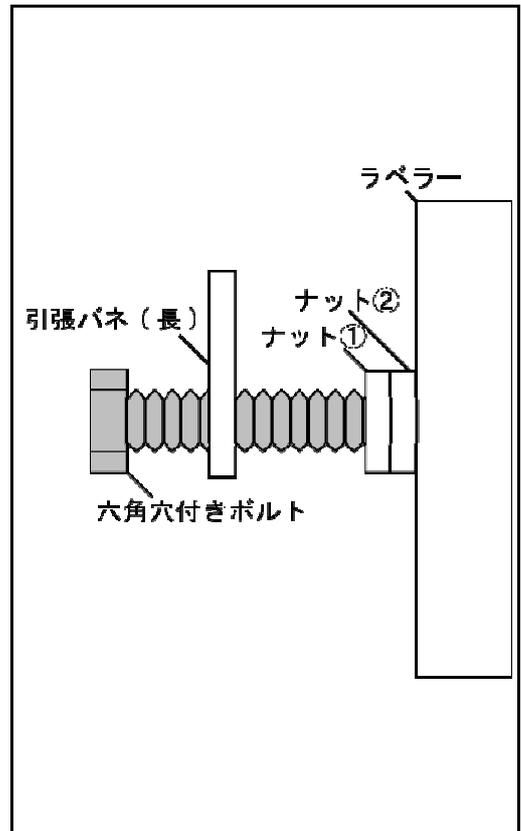
ラベラーが
左流れの場合

ラベラーが
右流れの場合



11 引張バネ(長)を六角穴付きボルトに掛け、ナット①および②を取り付けます。

- ナットはナット②が先端になるよう、取り付け順に注意してください。
- 引張バネ(短)および(長)が正しく取り付けられている場合は、以下の図のようになります。(裏側から見た状態)

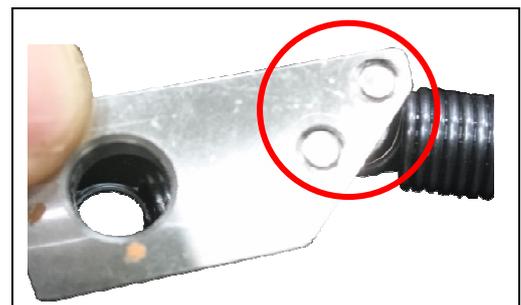


12 交換した引張バネ(長)、ナット①および②を取り付けた六角穴付きボルトを、ラベラーに取り付けます。

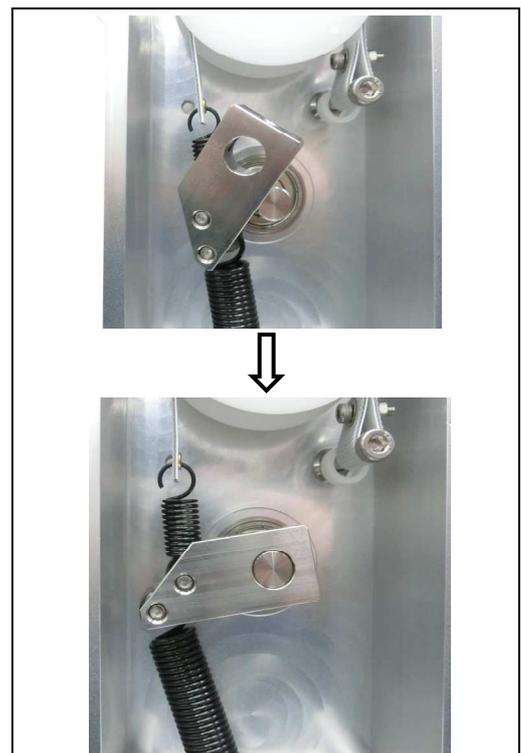
- 取り付けの際は六角レンチを使用してください。

13 ナットを緩め、ネジの先端がブレーキアームブロックとフラットな状態(平面上で段差のない状態)になるように調整します。

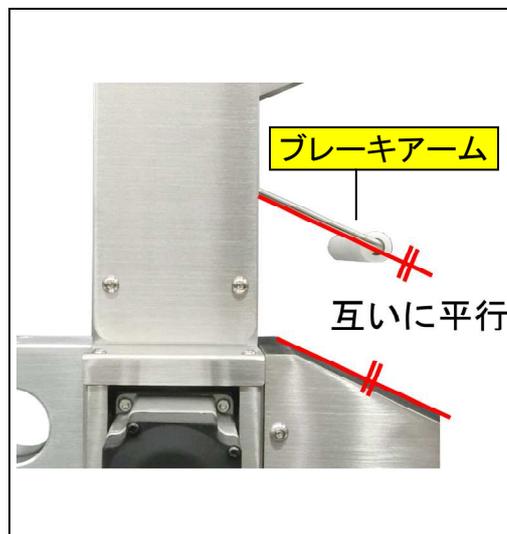
- 調整後はナットを十分に締めてください。



14 ブレーキアームブロックを受け軸に差し込みます。



- 15 ラベラーの図示の箇所の天面に対し平行になるようブレーキアームを下げ、その状態を維持します。



- 16 ブレーキアームを手順 15 の位置で維持したまま、セットビスを締めてブレーキアームブロックを固定します。

- ブレーキアームブロックと受け軸はフラットな状態(平面上で段差のない状態)になるよう調整して固定してください。



- 17 ラベラー背面のカバーを取り付け、ネジ(4本)を締めて固定します。



- 18 貼り付け動作を行い、使用可能であることを確認します。

■ 貼付が行えない場合

- ① 1 ページ< 交換前の確認と処置 >の項目に従って各部分の確認を行ってください。
- ② 不具合が解消しない場合はメーカー又は代理店までお問い合わせください。